



輝き

Kagayaki

協働!感動!躍動!
きょうどう かんどう やくどう
いきいきと輝くまち・三鷹

Vol.10

2012年6月20日発行

[発行者] 清原けい子後援会事務所 〒181-0001 東京都三鷹市井の頭1-14-23 Tel&Fax.0422-71-0150

3期目
2年目

震災の危機を乗り越えて、希望あふれる
三鷹の「今」と「未来」の創造を

三鷹市長
清原 慶子

皆様、こんにちは、三鷹市長の清原慶子です。後援会の皆様はじめ、市民の皆様の大きなご支援をいただいて、お蔭様で平成24年4月30日から市長としてちょうど10年目の任期に入り、毎日元気に市長の職務に励んでいます。皆様の、日頃からのまごころのこもったご支援に心より感謝申し上げます。

2011年3月11日に発生した東日本大震災の経験を通して、私たちは改めて「命」の大切さ、「家族」や「友人」の大切さ、そして、「学校」「職場」「地域」の大切さを再確認しました。私は、昨年4月に震災直後の市長選挙での当選を経て、三鷹市災害対策本部長でもある市長として、市民の皆様の生命と身体と財産をお守りする責務の重さをさらに痛感し、全力で職責をまとうしたいと決意して、日々取り組んでいます。

2012年は、「第4次三鷹市基本計画」及び「健康福祉総合計画2022」「環境基本計画2022」をはじめ策定・改定した20を超す個別計画の「実行元年」です。計画づくりの過程では、「市民アンケート」「まち歩きワークショップ」「まちづくり懇談会」「まちづくりディスカッション」「パブリックコメント」などの市民参加の機会に参画して下さった市民の皆様、団体の皆様からいただいたご意見やご提言を反映することができ、心強く思います。

●後援会長からのお挨拶

隣人と手を取り合うまちをめざして

東日本大震災から15カ月が過ぎようとしています。被災地での生活は未だ復興の途上にあります。振り返って三鷹のまちについて考える時、私自身も医師として、そして1人の市民として、真剣に考える機会を与えられたと思っています。

清原市長が、以前から繰り返し語られている「都市再生」と「コミュニティ創生」は、震災後の今、まちづ



三鷹市議会議場にて

これらの計画を実行し、安全で安心して暮らせるまちを創り、高環境高福祉の市政を具体的に進めていくのは、まずは市役所や教育委員会の仕事です。そして、事務事業総点検運動や公共施設総点検運動を含む行財政改革に努めます。さらに、市民の皆様、大学研究機関、産業界、公共機関、医療、社会福祉等の諸団体による「民学産公」の協働のまちづくりが不可欠です。

さらに、東京都や国にも、三鷹市長として、三鷹市の暮らしの現場を基礎に、大いに提言や要望をしてきましたし、今後もしていきたいと思います。

平成24年度の施政方針は、「震災の危機を乗り越えて、安全に安心して暮らせるまちをつくり、希望あふれる三鷹の『今』と『未来』を創造するために」努めることです。皆様の市政へのますますのご参画をお願いします。

くりの中で私たちが考えるべきテーマを明確に示しています。

「共助」の力を市民が持ち、隣人と手を取り合い支えあえるまち三鷹をめざして、三期目を歩む清原市長のご支援をよろしくお願いします。



村田外科医院院長
村田 欣造